



◆発行◆
鹿児島県隊友会
◆発行責任者◆
村山文彦
◆印刷◆
(株)新生社
鹿児島市七ツ島

年頭のご挨拶

県隊友会長 村山文彦

鹿児島県隊友会の会員
ならびにご家族の皆様、
新年明けましておめでと
うございます。

隊友会は昭和28年頃
から全国的に自然発生的
に生まれ、国民と自衛
隊との架け橋」をスロー
ガンにして長い歴史を歩
んで参りました。

県隊友会でも昨年11
月に奄美支部の創立50
周年の懇親会が盛大に催
されましたが、50年の



奄美支部のみならず、
県内各地でこれまで隊友
会の活動を支えて来られ
た、歴代支部長・事務局
長を始め、新聞を手配り
配布をされて来られた会
員皆様などに深甚なる感
謝の念を申し上げます。

県内の自衛隊は、国防
最前線の任務遂行を果た
しつつ、昨年第12普通
科連隊は米国での実動訓

練、また鹿屋基地からは
豪海軍主催の多国間海上
共同訓練に参加するなど
より高度な、かつ厳しい
実戦的・実際の訓練を積
み重ねています。

自衛隊に対する国民の
信頼度は高い状況になっ
ていますが、南西諸島
の軍事脅威に備える「本
来の姿は、国民に正しく
理解・応援されているに
ように思います。憲法

9条改正」とともに、「
防衛意識の高揚」のため
の活動も大事だと思っ
ています。

県隊友会も、公益社団
法人移行6年目を迎えま
すが、昨年県総合防災訓
練に初参加、始良支部が
市との災害協定を締結、
熊本地震での隊員家族救
援活動の実施など、災害
ボランティア活動で「一
歩前へ！」進みつつあり

年頭に当たって

県知事 三反園訓

明けましておめでと
うございます。

公益社団法人隊友会鹿
児島県隊友会の皆様には
おだやかに新しい年をお
迎えのこととお慶び申し



隊友会におかれまして
は、自衛隊の活動への協
力や防衛意識の普及・高
揚など、国民と自衛隊の
架け橋として積極的に活
動されるとともに、元自
衛官としての能力と経験
を生かした災害時の協力
等について、県との協定
に基づく体制を整備して
いただいております、深く敬
意と感謝を申し上げます

さて、今日の国際社会
におきましては、テロや
地域紛争など緊張は絶え
ることがなく、我が国周
辺でも、国の安全に関わ
る諸問題は緊迫の度を増
しつつあり、さらには、
国の内外において重大な
災害が多発しています。

このような中、自衛隊
は、ソマリア沖の海賊対
処行動や国際連合南スー
ダン共和国ミッションな
ど、国際平和活動に積極
的に取り組まれることも
に、熊本地震に伴う災害
派遣等頻発する災害に対
し、迅速かつ的確に対応
申し上げます。

新年を迎えて

参議院 外交防衛委員長

鹿児島県隊友会の会員
の皆様、明けましておめ
でとうございます。航空

自衛隊出身、空翔ぶ参
議院議員「こと宇都隆史
うとたかし」です。

昨年7月の参議院通常
選挙におきましては、多
大なるご支援を賜り、1
3万7993票 自民党



比比例区当選候補中：15
番目／19名、鹿児島県
：1万7105票／全国
1位）を獲得し、二期目
の活動をスタートさせる
ことができました。

新年のご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部長

新年明けましておめで
とうございます。隊友会
の皆様におかれましては
新春を健やかに迎えるの
ことと心からお慶び申し
上げます。

隊友会の皆様には、平
素から防衛思想の普及及
び防衛意識の高揚にご尽
力いただくとともに、自
衛隊鹿児島地方協力本部
の諸行事、諸活動に対し
て、深いご理解と絶大な
ご支援を賜り、自衛隊

鹿児島地方協力本部を代
表し、改めて厚く御礼申
しております。

年頭に当たり、公益社
団法人隊友会鹿児島県隊
友会のますますの御発展
と皆様の御健勝・御活躍
を祈念いたします。



現在、防衛省・自衛隊
は大きな時代の節目にあ
るご支援を賜り、自衛隊
鹿児島地方協力本部を代
表し、改めて厚く御礼申
しております。

隊友会鹿児島県隊友会
の皆様には、ますますの
御発展と御健勝・御活躍
を祈念いたします。

隊友会 相談役
準人支部 松山誠也 記

【囲碁大会のお知らせ】
○ 時 期 : H29. 2. 12(日) 9:00~16:00
○ 場 所 : 霧島市国分ビックセンター(無料駐車場有り)
○ 実施要領 : 個人戦(オープンゲームで将棋 も準備)
○ 参加費 : 無料 移動及び昼食等個人計画
○ 申 込 : 支部長を通じて県及び国分支部事務局へ
国分支部: 電話・FAX(0995-47-0031)
○ 締 切 : H29. 2. 5(日)

改正議論に正面から向き
合い、我が国の独立と日
本国民の安全を確保する
ため、国会議論を通して
次世代のあるべき憲法の
青写真を示していきたい
と思います。

本年も倍旧のご指導ご
鞭撻を賜りますよう、衷
心よりお願い申し上げます。

また、改憲勢力による
2/3以上の議席獲得は
誠に喜ばしい事であり、
憲法改正に向けて環境は
整って参りました。本年
は日本国憲法施行70周
年に当たります。この節
目の年に、私たち国会議
員は逃げることなく憲法

り、国民の皆様への信頼を
得て、「最後の砦」として、
最後の拠り所」として、
陸・海・空自衛隊は、迅
速・的確かつ最大限に能
力を発揮できるようなそ
の体制を整備していきま
す。そして、その人的基盤
となる質の高い人材を安
定的に確保することが必須
条件であります。

自衛隊鹿児島地方協力
本部は、歴史的に数多く
の偉人を輩出している鹿
児島において、適宜な自
衛官の募集及び採用、在
職中安心して職務に精励
できるよう退職自衛官の
就職の援護及び予備自衛
官等の確保と管理など、
まさに自衛官の一生を支
える任務を担っています

その様な中、少子化・
高学歴化と景気回復の影
響を受ける中での募集活
動は、より一層の困難が
予想されます。また、退
職自衛官の就職の援助及

回帰線

昭和55年頃の陸幕施
設勤務での思い出。そ
の1) 当時、東京近辺の
陸自の駐・分屯地に隣接
して米軍返還用地が放置
されていた。▲そこ
で陸幕として、それら隣
接用地の払い下げを条件
に六本木の防衛庁用地を
売却し、それを財源に、
市ヶ谷に駐屯する各部隊
は近隣の各駐・分屯地に
分散配置し、防衛庁は市
ヶ谷に移すと言う構想を
立て、その実現案の作成
と大蔵への説明を担当し
ました。▲当時は、土地
バブルの真最中であり、
大蔵にとっても、大いに
得する話であり、直ちに
採用されることになりま
した。しかし、その実現
には、バブルの崩壊等も
あり随分時間がかり、
完了したのは、平成12
年のことだったそうです
▲今市ヶ谷は立派な防衛
省となっており、その他
毎年中央パレードが行わ
れる朝霞訓練場も、この
成果の一端です。▲そ
の2) 当時の中期防計画
で装備の近代化は逐次進
んでいきましたが、弾薬の
備蓄は皆無でした。それ
は当時の保安基準がネッ
クで、補給課弾薬班と連
携し、通産省、防衛施設
庁、大学等の専門家に働
きかけ、隧道式千トン弾
薬庫の基準作りにこぎつ
け、弾薬支所適地調査ま
では担当しました。▲そ
の後、どのくらい進展し
ているのか知りたい気持
ちもあります。

安全保障フォーラム



前西方総監 番匠幸一郎氏の講演

鹿児島県隊友会 会長 村山文彦氏は10月22日、鹿児島市勤労者交流センターにおいて、前西部方面総監番匠幸一郎氏を講師に招き平成28年

度安全保障フォーラムイン鹿児島を隊友会、郷友会、父兄会の三団体の共催で開催した。

自民党・憲法改正推進本部・本部長でもある衆議院議員保岡興治先生以下、県議会議員、市議会議員、現役所長部隊長を来賓とし、当日は雨の天候にもかかわらず県民約300人が参加した。

演題は「最近の安全保障環境と南西防衛について」であったが、前半は現役時代のイラク派遣、東日本大震災での体験を

交えた話。後半は、隣国中国の動向に関わる内容であった。航空自衛隊が実施しているスクランブル発進も近年増加傾向にある。これも全て中国の影響である。今後、中国の動向には更に注意が必要であると述べられた。

東アジアの情勢について、安全保障は抑止力を強め、戦わずして勝つことが最善と、何もせずに平和は得られない。自分の国は自分で守る努力が必要である旨強調された約1時間半の講演であったが、最後に質疑・応答を行って講演を終了した。

県事務局次長 後藤光一 記

県Gゴルフ大会開催



チームの勝利に向け懸命にプレーする会員及び家族会員等

県グラウンドゴルフ大会が、11月23日勤労感謝の日吉野公園で開催された。

自衛隊鹿児島地本の副

本部長、重信弘様をお招きし、14個支部、39個チーム193人の選手勤務員を含め210人が熱戦を繰り広げた。

北は出水支部、南は枕崎支部、東は志布志支部から遠路参加していただいた。

優勝は昨年開催地の薩摩川内支部Cチーム、準優勝は国分支部Hチーム第3位が鹿児島Eチームであった。個人戦は優勝が薩摩川内支部、岩下博美氏、準優勝が出水支部池上一男氏、同34点、第3位が志布志支部の竹ノ内一郎氏、同36点であった。

また本大会では37人

参加総数の2割の方がホールインワンを出し例年に比べレベルアップしているように感じた。

競技終了後、久保競技委員長の計らいで、採点時間の合間を利用し、一発勝負大会を行い大会を盛り上げた。また事務局にホールインワンを出したのに、賞品がないとの苦情申出等笑いのヒトコマもあった。

閉会式では、次期開催地のさつま支部、末永支部長の挨拶があり、次回のコースは砂地でありその練習をして優勝を狙ってくださいます。」と結び大会の幕を閉じた。

鹿児島地協 事務局次長 後藤光一 記

九州・沖縄ブロック研修

沖縄地区開催



鹿児島県隊友会の防災関係の

平成28年度九州・沖縄ブロック研修会が11月26日(土)から27日(日)にかけて沖縄県那覇市で開催され、九州各県から総勢約260人、防衛協力諸団体等含む、内鹿児島県から30人の会員が参加した。

西部方面総監、海自第5航空群司令、そして南

混団司令ほか九州内各地方協力本部長、そして参議院議員宇都隆史様の来賓をえて盛大に開催された。

研修会では村山会長が鹿児島県の防災ボランティアの現状について紹介した。その後、南混団荒木空将の講話では、東シナ海における活発化している中国の活動状況が紹介され、尖閣諸島周辺付近における緊迫した状況が紹介された。

最後に懇親会に入り、まず沖縄県隊友会長による琉舞「がぎやでふう」が演じられ絶妙なタイミングで腰の帯がほどける演技?素晴らしいお迎えの踊りが紹介され、

教育振興で町長から表彰

瀬戸内支部会員、徳永敬次(とくながたかつぐ)氏は平成28年10月26日、瀬戸内町町制60周年式典において、町教育委員及び教育長として町教育の振興発展に貢献した功績により、瀬戸内町町制60周年記念式典実行委員会会長(瀬戸内町長)から表彰状を授



表彰状と徳永敬次氏

与されました。

徳永氏略歴

S33年空自入隊3空団

S38年空自退職

H12年県教員校長退職

H16年町教育委員長任用

H20年教育長退任

現在 瀬戸内支部 顧問



宝暦治水の碑 宝暦

十一 難工事遂行

(一) 宝暦四年(一七五四年)二月二十七日着工

(二) 工事区分

・一期 春に行い 急破普請」と 定式普請」有り。急破普請は、前年の洪水で決壊した箇所の修復工事であり、定式普請は、毎年の春役として地元負担で行われてきた工事である

・二期 秋に行い 瀬島千間堤の締め切り工事」と 天樽川の洗い堰」があり、双方とも最大の難工事であった。

(三) 工事現場区割り

大牧村役館(中央指揮

所)には、平田鞠負総奉行等主要役職を有する藩士が詰め、各手には、監督の幕吏が駐在して普請を督励した。また、薩摩藩側には、馬廻り、徒歩侍、足軽等を配置し、資材の受払、賃金の支払い(人足賃金 銀一匁七分(約二二六六円/人))等に従事した。

ア 一の手 神明津輪中

イ 桑原輪中(石田村出小屋)

主要工事 猿尾(突堤)築造が主で人夫三五〇人

イ 二の手 森津輪中

田代輪中(西村海地出小屋) 請人夫三〇〇人

主要工事 筏川上流部分の浚渫(長さ一・五km、幅九〇m)

ウ 三の手 墨俣輪中

本阿弥新田輪中(大藪村出小屋)

主要工事 洗堰の築造が

主で請人夫五〇〇人

エ 四の手 金廻り輪中

・地蔵口(金廻村出小屋)

主要工事 木曾川と揖斐川の分流工事が主で請人夫六〇〇人

(四) 幕府の冷徹さ(現地の村々に高札を立てた。)

ア 食事は、一汁一菜にて、酒肴などは、申すに及ばず心付けの馳走物は一切禁ず。

イ 御用について、不平・不埒なことがあったらすぐに密告せよ。もし、他から聞かえたら宿主共々厳罰に処す。

ウ 買物物は、相場にてお金を確かめて、受け取ってから品物を渡せ

エ 宿舎は、如何に見苦しき状態でも一切修理してはならない。

オ 草履・蓑等は決して安く売るな。

カ 村にて相談があっても、薩摩藩士を混ぜて話し合いをするな。

十二 犠牲者続出

(一) 宝暦四年四月十四日 四の手の工事を受け持つ永吉惣兵衛と音方貞淵の二名 原因は、村役達とのいざこざや幕吏の悪口雑言に武士の意地にて切腹幕府には、切腹したとすれば、反抗したものとみなされることから、腰のものにて怪我した。」と届けられたこれらの行為を考へるに武士の面目に掛けて切腹し、本懐を遂げた訳であるが、本人達の意志に反してそのように届けられたことを聞けばとても悔しかったろうと推察する。

それほど幕府に気がねしたのである。

同年四月二十二日 二の手にいて、幕府側役人の水行奉行高木新兵衛の家来であった内藤十左衛門が、自分の監督下に手抜き工事が行われた責任を感じて

参加総数の2割)の方がホールインワンを出し例年に比べレベルアップしているように感じた。

競技終了後、久保競技委員長の計らいで、採点時間の合間を利用し、一発勝負大会を行い大会を盛り上げた。また事務局にホールインワンを出したのに、賞品がないとの苦情申出等笑いのヒトコマもあった。

閉会式では、次期開催地のさつま支部、末永支部長の挨拶があり、次回のコースは砂地でありその練習をして優勝を狙ってくださいます。」と結び大会の幕を閉じた。

鹿児島地協 事務局次長 後藤光一 記

隊勤務に伴う転勤を、御蔭様で単身赴任することなく何時も段ボールを準備しながら13回引越しました。

その時々には子供共々悲喜こもも経験しましたが、今になって振り返れば、それぞれの土地での楽しい思い出と人の出逢いが掛替えのない貴重な財産となり、今も親しくお付き合い頂き本当にありがたく思っています。

夫は、第二の人生を地元民間企業に10年間御世話になりましたが、県北の長島出身の私共夫婦にとつての第二の故郷、そして終の棲家である川内の地に一日も早く溶け込み、孤立し無いよう夫婦して自治会役員を勤めながら、維持管理の為に

実家通いと趣味のガーデニングで花々から元気をもらいながらの日々です

そして、夫婦の元気の源であり心の支えでもある孫の成長を楽しみにしながら、年相応の持病を抱えながら 健康第一でピンピンこころ」を目標

晴れの受章 おめでとう

◎叙勲受章 (秋の叙勲)

- ★ 瑞宝小綬章 (賞賜)
- ◆ 西之表支部 上田 愛生 殿
- ◆ 鹿児島地協 川畑 初夫 殿
- ◆ 川畑 和美 殿
- ◆ 曾山 和夫 殿
- ★ 瑞宝双光章 (危険業務)
- ◆ 国分支部 田中 行夫 殿
- ◆ 伊佐支部 川口 健二 殿
- ◆ 西之表支部 永田 清 殿
- ◆ 鹿屋支部 角町 博志 殿
- ◆ さつま支部 佛淵 義幸 殿
- ◆ 鹿児島地協 野村 謙作 殿
- ★ 瑞宝単光章 (危険業務)
- ◆ 鹿児島地協 有田 眞二 殿
- ◆ 若松 義彦 殿
- ◆ 薩摩川内支部 植田 悟 殿
- ◆ 宇都 武信 殿
- ◆ 鹿屋支部 小松 良親 殿
- ◆ 指宿支部 内村 兼治 殿
- ◆ さつま支部

会が盛り上がった。

また翌日は雨の中、摩文仁の丘など南部戦跡研修が行われ、九州・沖縄ブロック研修会沖縄大会の幕を閉じた。

沖縄県隊友会の2年間にわたる綿密な準備に感謝を申し上げたい。

県事務局次長 後藤光一 記

支部紹介

さつま支部

さつま町は宮之城町・鶴田町・薩摩町が平成17年3月に合併し、これを機に隊友会さつま支部が誕生しました。

支部結成当初の会員は70人程でしたが、高齢化のため活動ができなくなり、現在は50人程になっています。



12普連2中隊の行進訓練を激励

場の総務課長、自衛隊父兄会長、さつま町の警備隊区担任の12普連2中隊長、地本の出張所長、広報官等、入隊者の親御さんも出席され、特に親御さんは自衛隊のことを直に話しを聞き、安心しておられるようです。

県隊友会総会後の6月には支部総会・懇親会をまた8月には、さつま町内に4ヶ所ある慰霊塔の清掃を実施しています。

町内の慰霊塔は昭和の合併前から地域にある慰霊塔で、それぞれの遺族会の方に2ヶ月程前に隊友会が清掃する旨調整し、暑い最中の清掃ですが大変感謝されています。

今年は12普連2中隊がさつま町内で行進訓練を実施しました。この訓練はさつま町の総務課長から、壮行会の場におい

て2中隊長に訓練をやるときはさつま町で実施してほしい。」と言われており、平成28年9月7日に行進訓練が実現しました。

これには町長をはじめとして自衛隊父兄会、隊友会、町民の方が経路上で応援・激励され、過日暑い中自衛隊の行進を目の当たりにされたご婦人が、南日本新聞に応援メッセージを投稿され、胸が熱くなる思いでした。

その他の活動としては毎月2回隊友会員有志によるグラウンドゴルフの練習をしています。

平成23年度に県隊友会グラウンドゴルフ大会をさつま支部が担当し、このような大きな催しを担当するのは初めてであり、会員多数の協力には目を見張るものがあり、

支部紹介

大崎支部

隊友会大崎支部は、平成6年会員11人で発足し、22年が経過。平成28年11月現在11人の会員で構成している。

会員は海自鹿屋基地、陸自国分及び都城駐屯地で定年退官された方が主として入会している。

年間の行事は会員相互の融和・親睦を図る事を目的として、4月の初め昼間はグラウンドゴルフ夜は総会及び懇親会を、

なお一層の会員相互の意思疎通を図ることができ支部活動の盛り上がりが出てきたと预料しているところだ。

さつま支部長 末永 幸里 記



Gゴルフを楽しむ大崎支部の方々

11月はグラウンドゴルフ・懇親会を実施している。

この際、会員の奥様方も参加され、融和で気楽に何でも話ができる支部の醸成に努めている。なお、本年4月の総会時の意見交換の中で定年された方に声をかけ、入会について打診し会員を増やそうという方向で意見がまとまり、今後会員数20人の目標を掲げ、組織として活動が出来る支部を目指すとともに、町と

会員紹介

喜入支部

喜入支部の 中菌忠雄 なかぞのただお」会員を紹介いたします。

昭和10年生まれれの81歳ですが、とてもそのような年齢は感じさせず

の連携、即ち町の現状・ニーズの把握、このニーズに対して、自衛隊での経験を踏まえ、支部として何が出来るか分析・検討し町の担当者との意見交換、また数次に亘る会議の実施により、具体化を図り、町のニーズ及び町が主催して実施する各種訓練に対する支援を実施していきたいと考えている。

大崎支部長 堂園隆二 記

故郷のまつり

お元気で支部のボランティア活動や懇親会等には必ず参加をしておりますアルコール類は一切受け付けないにもかかわらず、このような活動や会に参加するのには訳があります。それは喜入支部の広報カメラマンだからです。

支部総ての会活動、カメラに収め投稿記事や活動参加の会員に配布しており、支部長を始め会員からの信頼は特別に厚いものがあります。

広報カメラマンに関しては、自衛隊入隊16年後の昭和45年国分12普連に配属、その時1科広報班勤務となり、昭和47年太陽国体が開催される1年前から国分自衛隊が実施する国体支援準備訓練の広報写真を撮ることにになり、それ以来カメラマンとして腕を磨いているとの事です。

このような縁の下で、力持ちがられるので、喜入支部は大変助かっているとともにまとまりに



賑わいを見せる自衛隊コーナー

謹んで
ご冥福を

- ◆ 知名支部 山田 実
- ◆ 国分支部 餘慶 貞雄
- ◆ 白澤 義則
- ◆ 垂水支部 下世 英俊
- ◆ 始良支部 小園 新一
- ◆ さつま支部

会員紹介

鹿児島地協東支部

知る人ぞ知る、地区協議会ならぬ県隊友会でも名の知れた谷口館長、昭和27年国防意識に燃え保安隊に入隊、外出時に出会った沖縄武術 唐手（空手）に魅了され道場の門を叩き入門、国防に相通ずるものを感じ空手道一筋に生きることを決意、64年目の現在に至っています。



道着姿の谷口正明氏

昭和42年に竜雲館総本部を設立、厳しい修練の結果昭和62年に、全

日本防具付空手道連盟会長に就任、竜千流空手道宗家師範範士九段 連盟資格審査委員の称号として日夜老若問わず月に12日程度指導に明け暮れています。

総本部を設立以来多くの青少年を輩出し青少年の健全育成に貢献され、市長より表彰も受けています。年間行事も冬季の力走鍛錬を始め竜千流大会、昇段審査等々、年齢84を微塵たりとも感じることもありません。

そしてもう一つの顔、神道祭司」です。幼い頃から朝夕両親の神佛拝礼の姿を見て育ち、大人との接し方、食事時の心構え等を躰として厳しく受けていました。

平成9年には明治天皇勅裁富士神法扶桑教大教庁で中央主催研修会を修

昭和20年6月、学童疎開が始まり真夜中に親子が港で大声で泣き叫びながら別れる、海岸から業し、神占禁厭加持祈禱を拝受、平成27年には補中講義教師免許及び褒章状不二金光章を拝受、恒例の春季武勇神祭を斎行しています。

各家庭の地鎮祭諸々の祭り、神事祓い等もお申しつけ下されば参上致します。何事も前向きな姿勢は私の力の源でもあります。師として仰いでいます。全て内助の功に感謝の一念を添えます。

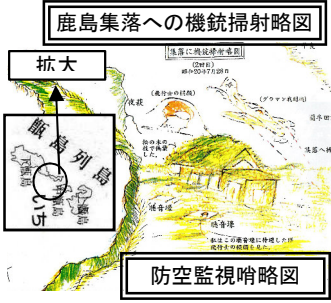
鹿児島地区協議会 東支部長 久保泰仁 記

大崎支部体験記

昭和20年6月、学童疎開が始まり真夜中に親子が港で大声で泣き叫びながら別れる、海岸から業し、神占禁厭加持祈禱を拝受、平成27年には補中講義教師免許及び褒章状不二金光章を拝受、恒例の春季武勇神祭を斎行しています。

各家庭の地鎮祭諸々の祭り、神事祓い等もお申しつけ下されば参上致します。何事も前向きな姿勢は私の力の源でもあります。師として仰いでいます。全て内助の功に感謝の一念を添えます。

鹿児島地区協議会 東支部長 久保泰仁 記



鹿島集落への機銃掃射略図

防空監視哨略図

たので父母、兄弟を家の床下に入るように指示し様子を見るために外に出たところが、東海岸からグラマン戦闘機1機が集落に機銃掃射を浴びせながら西海岸方面へ飛び去った。私はバリバリと機銃の音と同じに家の床下に飛び込んだ。ところが床下の入口の土に弾丸が突き刺さっていたのを発見し冷汗をかいいた。

また、家の雨戸の敷居に弾丸が貫通した後も見られた。その後しばらく集落への機銃掃射は静まった。防空監視哨勤務は弁当持参のため、退避壕から父と2人で自宅に戻り、火の煙が外に漏れないように弁当を作るのが大変だった。

昭和20年7月28日午前、普段は本土空襲を終え数十分後編隊飛行の

まま蘭牟田上空を通過し沖縄方向へ去るのに戦闘機1機（グラマン）が、編隊を離れて突然我が監視哨上空に現れ、哨長が哨員に対し退避命令を出した。哨員はそれぞれ哨の床下や、聴音壕 波の音か、飛行機の爆音かを聞き分けるための壕に私は聴音壕に身を隠した

グラマン戦闘機の様子を見ると集落へ機銃掃射を浴びせているその飛行士の横顔をはっきりと初めて見た。西海岸にいた小型船にも機銃掃射を浴びせながら南方へ去った小型船の状況を見ていたから父と2人で自宅に戻り、火の煙が外に漏れないように弁当を作るのが大変だった。

昭和20年7月28日午前、普段は本土空襲を終え数十分後編隊飛行の



常にカラ片手の中菌氏

一氏は全身に火傷しながら岸に泳ぎ着き助かった空襲警報も解除され任務に復帰し、しばらくして郵便局から勤務中の姉が「ヤラレタ」との一報が哨に入った。生命には別状ないとの事で一先ず安心したが、その夜姉は左背中激痛を感じ翌朝再診した結果、弾丸が背中に残っており、それを除去する手術後防空壕に退避していた。弾丸は

《 業 務 内 容 》

- ◆ 叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆ 拝謁上京時のご案内
- ◆ 叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆ 叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話：099-218-4081

HP：http://www.jokun-iino.jp

◆ 知名支部 山田 実

◆ 国分支部 餘慶 貞雄

◆ 白澤 義則

◆ 垂水支部 下世 英俊

◆ 始良支部 小園 新一

◆ さつま支部

米陸軍との実動



訓練開始式の場面

第12普通科連隊（連隊長 根本正之 1等陸佐）を基幹とする第12戦團団は、平成28年9月、1ヶ月にわたり米、国ワシントン州のヤキマ演習場で実施された米陸軍との実動訓練に約300人が参加。

訓練開始式を皮切りに1週間の機能別訓練を経て、4日間の総合訓練へ突入した。

一面黄金色の枯草が広がる広大な演習場内で、緑の迷彩服を着た隊員

自衛隊勤務を



鹿屋基地 甲斐敏治 1海尉

昭和56年3月、宮崎県の高校を卒業してすぐ海自佐世保教育隊に入隊しました。初めての配属先は鹿屋の第1支援整備隊で、大きな不安を抱いて「国鉄大隅線」の鹿屋駅ホームに降り立ったことを今でも覚えています。それまでまったく知識のない航空機整備、弾火薬類の取扱い及び整備法に戸惑い、驚くことばかりでした。

その後、海曹昇任の機

日本国内ではそれほど意識しない旗も、海外に寄港すると艦首の日章旗と艦尾に翻る自衛艦旗が頼もしく感じたものです。また、アリュールン列島からソロモン諸島に至る海域で、先の大戦で激戦地となった付近を航

61周年を

会を得て長崎県の大村航空基地に転属し、そこを中心佐世保、横須賀、呉所属のヘリ搭載護衛艦・砕氷艦に飛行科員として乗艦しました。

決して広くない飛行甲板で、昼夜を問わない列線作業は艦の動揺と風による海中転落など、常に危険と隣り合わせで緊張の連続でした。そのような艦内生活でも洋上で見る真つ青な海、満天の星などに心癒され、南極大陸の大自然にも魅了されました。

日本国内ではそれほど意識しない旗も、海外に寄港すると艦首の日章旗と艦尾に翻る自衛艦旗が頼もしく感じたものです。また、アリュールン列島からソロモン諸島に至る海域で、先の大戦で激戦地となった付近を航

隊員紹介「私と太鼓」

川内駐屯地 8施大 江夏2曹

私は、川内駐屯地所属隊員で構成されています。薩摩川内砲児太鼓の4代目部長です。現在第8施設大隊の隊

の隊員に大きな感動を与えた。

今回の訓練で、陸自で実施困難若しくは出来ない射撃を実施して総合戦闘力を最大限発揮できる練習を向上させることができました。また、実戦経験のある米国から学べるものは多く、今後の戦闘行動において更なるスキルアップを狙いたい。

国分駐屯地 12普通連 広報班長 記



第8施設大隊 江夏2曹

中隊配属後に、先輩から太鼓同好会への誘いを受けました。不安もありましたが、自分も観る人に感動を与えたいと思い入部を決めました。

入部当初は、撥の握り

員約20人と、演奏を観た方に楽しんで感動して頂きたいという共通の思いで活動しています。

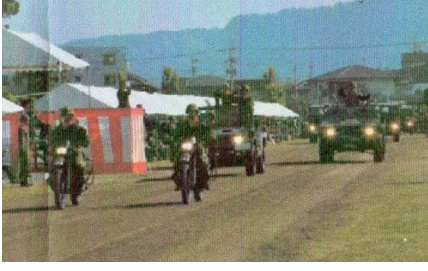
私と太鼓の出会いは、新隊員後期教育修了式でした。初めて観る先輩方の演奏はかっこよく、すごく感動したことを今でも鮮明に覚えています。当時は、がらっぱ太鼓同好会」という名称でした。中隊配属後に、先輩から太鼓同好会への誘いを受けました。不安もありましたが、自分も観る人に感動を与えたいと思い入部を決めました。

海する度に実施された洋上慰霊祭では、あらためて平和の尊さを考えさせられました。

定年退職を迎えようとしている今、これまでの自衛隊生活で培った経験と生活面及び整備員としての「じつけ」は、私の大きな財産となっています。

知事や霧島市長を始めとする国会議員の祝辞等もあり、隊員等を激励した駐屯地司令は式辞で「61周年を迎えることができましたのは、県民・市民の皆様のご支援、ご協力と諸先輩のご尽力の賜物」と述べた。引き続き、観閲行進が行われ、徒歩部隊・車両部隊が整然と行進すると大きな拍手が沸き起こった。

その他、自衛隊車両の体験試乗・レンジャーの



威風堂々行進する観閲部隊

ロープ体験・戦闘訓練展示など沢山の催しがあり、所狭しと子供達が動き回って賑やかな声が響き渡っていた。特に戦闘訓練展示では特科等の射撃で大きな音が響き、会場からどよめきと拍手が起き自衛隊の訓練をまじかで見ることができ感動した。」と話す人もいた。

国分駐屯地 広報班長 記

初めての地 本臨時勤務

私は、昨年8月から11月までの3ヶ月間、出身地に所在する自衛隊鹿児島地本分地域事務所

私が勤務した時期は、募集活動の最盛期で忙しい中ではありましたが、国分地域事務所は、所長をはじめ、広報員、期間

第55警戒隊の栄養士であり、徳麻美技官を紹介したいと思っています。徳技官は、給養係では紅一点で、職場に華やかさをもたらしてくれているような、そうでもないような魅力的な存在です。また、栄養担当官として新メニュー採用に余念がなく、嗜好調査アンケート、隊員からの聞き込み及びインターネット等を最大限利用し、新メニュー採用に取り組んでおります。

しかし、新メニューのレシピを給養係の誰も知らない事があるため、みんなで試行錯誤しながら隊員に「〇！美味い！」



調理実施中の徳技官

調理の腕も確かで、後輩隊員が南混団調理競技会に出場する際には、現場係に勝るとも劣らない確かな指導を施し、後輩隊員は見事、準優勝の成績を収めることが出来ました。

まだまだ語り尽くせない徳技官の魅力、500字程度では到底伝える事は出来ませんが、髪、お伝えできたのかなと思います。

この乱文に目を通して



ポスター掲示中の横江2曹

業務隊員の方がとても明るく前向きに勤務している印象を受けました。

私も、高校説明会や担当する地域にも同行させてもらい、募集・広報活動に携わることができました。中でも、学生や地域の方々や直に触れ合うのは、今までにない貴重な経験であり、自衛官として成長する糧となりました。

また、学生のひたむきさや、地域の方々のご理解とご協力があった募集が出来たことを知り、広

とされるよう心がけています。

料理の腕も確かで、後輩隊員が南混団調理競技会に出場する際には、現場係に勝るとも劣らない確かな指導を施し、後輩隊員は見事、準優勝の成績を収めることが出来ました。

まだまだ語り尽くせない徳技官の魅力、500字程度では到底伝える事は出来ませんが、髪、お伝えできたのかなと思います。

この乱文に目を通して

お口から食べるを生涯サポートいたします。！

一般・小児・矯正歯科診療

※ 通院できない方には、訪問診療、食べる飲み込めない方の摂食・嚥下診断、リハビリもフォローいたします。

(月)～(金)9:00～13:00 14:30～18:30
(土)9:00～13:00 ※(火)と(木)、(金)午後は往診
休診日 (日)、(祭)、第2(木)

※ 騎射場交差点 角

SENDO DENTAL CLINIC 千堂歯科医院

〒890-0056 鹿児島市下荒田3-39-13 山内ビル
TEL 099-250-1232
FAX 099-250-1232

報員という仕事にやりがいを感じようになり、原隊に帰ってからもこの経験を活かして、後輩獲得のための募集広報及び縁故募集など様々な面で協力していきましょう。と思います。

本当にお世話になりました。空自 飛行教育航空隊 整備隊 横江大典 2等空曹 記

華やかに彩られた・・・ジェイドガーデンパレス。歓迎会、送別会、謝恩会、同窓会、ご入学、ご卒業ご就職祝い、記念パーティ、祝賀会、結納、結婚式

JADE GARDEN PALACE

ジェイド ガーデン パレス

中国料理 翠園

鹿児島市上荒田町19番1号

●ご予約・お問合せは・・・

099-257-1211